

2017年8月9日
メットライフ生命保険株式会社

2017（平成29）年度第1四半期業績のご報告

強い成長と強固な財務基盤を維持

メットライフ生命保険株式会社（代表執行役 会長 社長 サシン・N・シャー）の2017年度第1四半期（2017年4月1日～2017年6月30日）の業績をお知らせします。当期の概況として、経済環境に不確実性が見られるなか、当社は強い成長と強固な財務基盤を維持しており、外貨建て商品を中心に継続的に堅調な売り上げを達成しています。

業績概況

新契約年換算保険料は 243 億円（前年同期比△3.2%）
保険料は 3,673 億円（前年同期比+6.3%）
保有契約件数は 885 万件（前年度末比+0.6%）
基礎利益は 234 億円（前年同期比+395.5%）
ソルベンシー・マージン比率は 854.5%（前年度末比△102.5ポイント）

長引く低金利・マイナス金利環境下において、当社は、一部の円建て商品の販売を抑制して医療保険・がん保険や外貨建て商品の販売にフォーカスするという戦略的なシフトを実施しました。おもに日本の低金利環境を踏まえたこれらのシフトに伴い、新契約年換算保険料が前年同期比 32%減となりました。その一方で、「ドル Smart（ドルスマート）」や「サニーガーデン EX」、「ビーウィズユープラス」などの外貨建て商品の販売は強い成長を示しており、これら商品の新契約年換算保険料は前年同期比 33.1%増となりました。

医療保険・がん保険の販売については、一部の円建て商品からのシフトや、本年7月2日に「Flexi（フレキシィ）」シリーズの商品改定を控えていたことによる販売減により、前年同期比 14.2%減に留まりました。新たに発売された「Flexi S（フレキシィ エス）」シリーズは、介護および認知症に関する特約について、業界初[※]の特徴を兼ね備えています。この新「Flexi S」シリーズは、当社の医療保険分野における競争力を強化するものと期待しています。※2017年5月末現在当社調べ

保険料収入は、外貨建て商品の堅調な販売増および保有契約が堅調に増加したことにより、前年同期比 6.3%増となりました。また、当社がお客さま中心主義を徹底し、より多くのお客さまが当社との契約を継続するという選択をされた結果、保有契約件数は前年度末比 0.6%増の 885 万件となりました。

基礎利益については、前年同期に比べ 395.5%の大幅な増加を達成し、234 億円となりました。保険料収入の増加、そして効果的な事業費管理やリスク管理を実施した成果、また金利や為替変動等により責任準備金の積み立て負担が前期と比べ軽減したことによります。

当社の財務基盤は引き続き強固で、ソルベンシー・マージン比率は 854.5%の高水準を維持し、また国際的な格付け会社である S&P グローバル・レーティング・ジャパン社の保険財務力格付けでは「AA-」を維持しており、2015年9月以降は日本のソブリン格付けを上回っています。

当社は成長に向けて確かな投資を進めています。例えば、当社の新契約の多くの契約手続きが、タブレット端末を活用して保険申込み手続きをペーパーレス化した新営業支援システム「MetLife e-Mirai（メットライフ イーミライ）」を通じて行われています。カスタマー体験のさらなる向上にむけて、こうしたデジタル技術を活用し、いっそうの差別化を進めていきます。

当社の代表執行役 会長 社長のサシン・N・シャーは、次のようにコメントしています。

「お客様により良い価値をお届けする外貨建て保険や医療保険・がん保険を重視するという当社の戦略的意思決定は、着実にその成果を発揮しています。当社は引き続き、お客様がより効果的に健康を維持、管理できるような様々な機能を備えた、健康関連サービスを着実に拡充していきます」

健全性等の状況について

ソルベンシー・マージン比率

854.5%

格付け*

AA-

S&P グローバル・レーティング・ジャパン
保険財務力格付け

*上記の格付けは2017年8月9日現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。また、格付けは格付会社の意見であり、保険金支払いなどについて保証を行うものではありません。

業績ハイライト

2017年度第1四半期主要業績			前年同期比 *前年度末比
新契約の状況 (個人保険・個人年金保険合計)	新契約高	7,214 億円	△3.0%
	新契約件数	18万7千件	△6.6%
	新契約年換算保険料	243 億円	△3.2%
保有契約の状況 (個人保険・個人年金保険合計)	保有契約高	31兆51 億円	*+0.6%
	保有契約件数	885 万件	*+0.6%
	保有契約年換算保険料	1兆435 億円	*+0.4%
収支の状況	保険料等収入	4,068 億円	+6.8%
	保険料	3,673 億円	+6.3%
	基礎利益	234 億円	+395.5%
	四半期純利益	30 億円	△70.1%
財務の状況	総資産	10兆1,099 億円	*+1.9%
	ソルベンシー・マージン比率	854.5%	*△102.5 ポイント

以上

メットライフ生命について

メットライフ生命は、日本初の外資系生命保険会社として1973年に営業を開始し、多様な販売チャネルを通して、個人・法人のお客さまに革新的かつ幅広いリスクに対応できる商品を提供してまいりました。現在は日本法人「メットライフ生命保険株式会社」として、お客さまに常に寄り添い、お客さま自らが自信を持って最適な保障を選ぶお手伝いをし続けることに努めています。

本件に関するお問い合わせ先

メットライフ生命 広報部

TEL : 03-6779-2294 Email : metlife_communications@metlife.co.jp



2017年8月9日

メットライフ生命保険株式会社

2017(平成29)年度第1四半期報告

メットライフ生命保険株式会社(代表執行役 会長 社長 サシン・N・シャー)の2017(平成29)年度第1四半期(2017年4月1日～2017年6月30日)の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	2
2. 資産運用の実績(一般勘定)	4
3. 四半期貸借対照表	6
4. 四半期損益計算書	7
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	10
6. ソルベンシー・マージン比率	11
7. 特別勘定の状況	13
8. 保険会社及びその子会社等の状況	14

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、百万円、%)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	8,449	29,078,152	8,509	100.7	29,310,512	100.8
個 人 年 金 保 険	354	1,739,958	346	97.8	1,694,651	97.4
団 体 保 険	—	3,288,742	—	—	3,186,542	96.9
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注)個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位:千件、百万円、%)

区 分	2016年度 第1四半期累計期間				2017年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
			新 契 約	転換による 純増加		前年 同期比		前年 同期比	新 契 約	転換による 純増加
個 人 保 険	197	727,516	727,516	—	184	93.6	707,474	97.2	707,474	—
個 人 年 金 保 険	3	16,297	16,297	—	2	82.8	14,011	86.0	14,011	—
団 体 保 険	—	36,830	36,830	—	—	—	60,535	164.4	60,535	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)新契約による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

(2)年換算保険料

・保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	2016年度末	2017年度	
		第1四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	891,155	897,648	100.7
個 人 年 金 保 険	148,066	145,915	98.5
合 計	1,039,222	1,043,563	100.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	364,599	365,212	100.2

・新契約

(単位:百万円、%)

区 分	2016年度 第1四半期累計期間	2017年度	
		第1四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	23,260	21,989	94.5
個 人 年 金 保 険	1,932	2,385	123.5
合 計	25,192	24,374	96.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	7,935	6,805	85.8

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	247,593	2.6	184,637	1.9
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	7,947,903	83.1	8,157,362	83.7
公 社 債	2,996,479	31.3	3,037,505	31.1
株 式	4,682	0.0	4,862	0.0
外 国 証 券	4,856,464	50.8	5,021,629	51.5
公 社 債	4,716,248	49.3	4,896,065	50.2
株 式 等	140,216	1.5	125,564	1.3
そ の 他 の 証 券	90,277	0.9	93,363	1.0
貸 付 金	806,835	8.4	855,293	8.8
保 険 約 款 貸 付	115,191	1.2	115,440	1.2
一 般 貸 付	691,643	7.2	739,853	7.6
不 動 産	246,037	2.6	255,285	2.6
う ち 投 資 用 不 動 産	210,275	2.2	217,551	2.2
繰 延 税 金 資 産	17,758	0.2	16,538	0.2
そ の 他	294,787	3.1	283,814	2.9
貸 倒 引 当 金	△ 1,518	△ 0.0	△ 1,574	△ 0.0
合 計	9,559,396	100.0	9,751,356	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	5,395,302	56.4	5,436,603	55.8

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	2016年度末					2017年度 第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	63,352	72,558	9,206	10,019	△ 813	68,059	77,830	9,771	10,166	△ 395
責任準備金対応債券	3,378,202	3,725,633	347,431	361,935	△ 14,503	3,450,174	3,812,918	362,743	373,605	△ 10,861
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	4,290,975	4,495,436	204,460	230,444	△ 25,983	4,409,908	4,628,238	218,330	239,582	△ 21,251
公 社 債	944,025	989,177	45,152	48,704	△ 3,552	943,527	986,456	42,928	46,226	△ 3,298
株 式	1,040	2,700	1,659	1,659	—	1,031	2,896	1,864	1,864	—
外 国 証 券	3,283,327	3,414,435	131,108	153,414	△ 22,306	3,399,747	3,546,667	146,920	164,852	△ 17,932
公 社 債	3,155,578	3,281,995	126,417	146,223	△ 19,805	3,288,475	3,428,880	140,405	155,611	△ 15,206
株 式 等	127,749	132,439	4,690	7,191	△ 2,500	111,272	117,787	6,515	9,241	△ 2,725
その他の証券	62,582	89,123	26,540	26,666	△ 125	65,601	92,218	26,617	26,638	△ 21
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	7,732,529	8,293,627	561,098	602,399	△ 41,301	7,928,142	8,518,988	590,845	623,353	△ 32,508
公 社 債	2,951,327	3,285,163	333,836	343,322	△ 9,486	2,994,577	3,328,309	333,732	343,189	△ 9,457
株 式	1,040	2,700	1,659	1,659	—	1,031	2,896	1,864	1,864	—
外 国 証 券	4,717,579	4,916,640	199,061	230,751	△ 31,689	4,866,932	5,095,563	228,631	251,660	△ 23,029
公 社 債	4,589,830	4,784,201	194,371	223,559	△ 29,188	4,755,659	4,977,776	222,116	242,419	△ 20,303
株 式 等	127,749	132,439	4,690	7,191	△ 2,500	111,272	117,787	6,515	9,241	△ 2,725
その他の証券	62,582	89,123	26,540	26,666	△ 125	65,601	92,218	26,617	26,638	△ 21
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2016年度末	2017年度 第1四半期会計期間末
満 期 保 有 目 的 の 債 券	—	—
非 上 場 外 国 債 券	—	—
そ の 他	—	—
責 任 準 備 金 対 応 債 券	—	—
子 会 社 ・ 関 連 会 社 株 式	2,121	2,121
そ の 他 有 価 証 券	8,792	8,767
非 上 場 国 内 株 式 (店 頭 売 買 株 式 を 除 く)	417	401
非 上 場 外 国 株 式 (店 頭 売 買 株 式 を 除 く)	—	—
非 上 場 外 国 債 券	—	—
そ の 他	8,374	8,365
合 計	10,913	10,888

(3) 金銭の信託の時価情報

該当はありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2016年度末 要約貸借対照表 (2017年3月31日現在)	2017年度 第1四半期会計期間末 (2017年6月30日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		252,628	190,384
金銭の信託		218,087	212,697
有価証券		8,078,383	8,289,441
(うち国債)	(2,229,942)	(2,268,332)
(うち地方債)	(97,848)	(97,266)
(うち社債)	(733,058)	(734,608)
(うち株式)	(4,682)	(4,862)
(うち外国証券)	(4,857,570)	(5,022,735)
貸付金		808,135	856,588
保険約款貸付		115,191	115,440
一般貸付		692,943	741,148
有形固定資産		250,246	260,432
無形固定資産		32,874	33,316
再保険		63,339	65,005
その他の資産		201,093	187,104
繰延税金資産		17,758	16,538
貸倒引当金		△ 1,518	△ 1,574
資産の部合計		9,921,027	10,109,936
(負債の部)			
保険契約準備金		8,776,623	8,965,834
支払準備金		53,692	57,560
責任準備金		8,711,846	8,898,332
契約者配当準備金		11,084	9,940
再保険		6,730	7,724
その他の負債		551,790	527,316
未払法人税等		13,204	702
リース債務		615	563
資産除去債務		1,181	1,187
その他の負債		536,789	524,862
退職給付引当金		49,766	50,915
役員退職慰労引当金		128	71
時効保険金等払戻引当金		1,718	1,834
価格変動準備金		97,900	99,450
負債の部合計		9,484,658	9,653,146
(純資産の部)			
資本金		111,308	111,308
資本剰余金		111,298	111,298
資本準備金		111,298	111,298
利益剰余金		79,727	82,749
利益準備金		9	9
その他利益剰余金		79,717	82,739
繰越利益剰余金		79,717	82,739
株主資本合計		302,333	305,355
その他有価証券評価差額金		147,248	157,252
繰延ヘッジ損益		△ 13,213	△ 5,819
評価・換算差額等合計		134,035	151,433
純資産の部合計		436,369	456,789
負債及び純資産の部合計		9,921,027	10,109,936

4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2016年度 第1四半期累計期間 〔 2016年 4月 1日から 2016年 6月 30日まで 〕	2017年度 第1四半期累計期間 〔 2017年 4月 1日から 2017年 6月 30日まで 〕
		金額	金額
経常収益		813,143	505,512
保険料等収入		380,840	406,880
(うち保険料)	(345,492)	(367,397)
資産運用収益		174,645	88,137
(うち利息及び配当金等収入)	(62,602)	(64,862)
(うち有価証券売却益)	(4,310)	(3,614)
(うち金融派生商品収益)	(103,680)	(-)
(うち為替差益)	(-)	(6,844)
(うち特別勘定資産運用益)	(-)	(11,166)
その他経常収益		257,657	10,494
(うち支払備金戻入額)	(2,278)	(-)
(うち責任準備金戻入額)	(245,742)	(-)
経常費用		797,030	499,251
保険金等支払金		253,253	212,451
(うち保険金)	(30,472)	(31,947)
(うち年金)	(62,890)	(40,147)
(うち給付金)	(36,622)	(34,867)
(うち解約返戻金)	(72,421)	(73,470)
(うちその他返戻金)	(1,747)	(1,755)
責任準備金等繰入額		0	190,353
支払備金繰入額		-	3,867
責任準備金繰入額		-	186,485
契約者配当金積立利息繰入額		0	0
資産運用費用		467,158	19,030
(うち支払利息)	(388)	(688)
(うち有価証券売却損)	(1,347)	(634)
(うち金融派生商品費用)	(-)	(15,404)
(うち為替差損)	(449,924)	(-)
(うち特別勘定資産運用損)	(13,609)	(-)
事業費用		62,725	62,807
その他経常費用		13,893	14,607
経常利益		16,113	6,260
特別損失		1,451	1,649
固定資産等処分損		1	99
価格変動準備金繰入額		1,450	1,550
契約者配当準備金繰入額		272	192
税引前四半期純利益		14,389	4,418
法人税及び住民税		6,051	1,836
法人税等調整額		△ 1,758	△ 440
法人税等合計		4,292	1,396
四半期純利益		10,096	3,022

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

- 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、332,101 百万円であります。
- ローン・パーティシパーションで、日本公認会計士協会会計制度委員会報告第3号に基づいて、原債務者に対する貸付金として会計処理した参加元本金額の四半期貸借対照表計上額は、510,690 百万円であります。

- 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当期首現在高	11,084 百万円
当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	1,336 百万円
利息による増加等	0 百万円
契約者配当準備金繰入額	192 百万円
当第1四半期会計期間末現在高	9,940 百万円

- 配当支払額

平成29年7月6日の臨時取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	30,000 百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たりの配当額	300 百万円
効力発生日	平成29年7月10日

- 株主資本の金額の変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計
当期首残高	111,308	111,298	79,727	302,333
当第1四半期会計期間末までの変動額				
四半期純利益			3,022	3,022
当第1四半期会計期間末までの変動額合計			3,022	3,022
当第1四半期会計期間末残高	111,308	111,298	82,749	305,355

- 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

1. 1株当たり四半期純利益は30,220,174円98銭であります。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は潜在株式が存在していないため記載をしておりません。

2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2016年度 第1四半期累計期間	2017年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	4,738	23,475
キャピタル収益	461,275	10,458
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	4,310	3,614
金融派生商品収益	103,680	—
為替差益	—	6,844
その他キャピタル収益	353,284	—
キャピタル費用	451,941	26,593
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	1,347	634
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	15,404
為替差損	449,924	—
その他キャピタル費用	668	10,554
キャピタル損益 B	9,333	△ 16,134
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	14,071	7,341
臨時収益	2,041	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	1,144	—
個別貸倒引当金戻入額	897	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	—	1,080
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	—	1,073
個別貸倒引当金繰入額	—	7
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	2,041	△ 1,080
経常利益 A+B+C	16,113	6,260

(参考)その他キャピタル収益等の内訳は以下のとおりです。

(単位:百万円)

	2016年度 第1四半期累計期間	2017年度 第1四半期累計期間
その他キャピタル収益	353,284	—
外貨建商品に係る為替関係損益	353,284	—
その他キャピタル費用	668	10,554
外貨建商品に係る為替関係損益	—	7,316
一時払年金商品等に係る市場価格調整額	668	3,237

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2016年度末	2017年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1,083,362	1,006,434
資本金等	272,333	235,355
価格変動準備金	97,900	99,450
危険準備金	45,872	46,946
一般貸倒引当金	693	741
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	191,455	204,939
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	28,082	28,134
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	645,965	639,555
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 225,997	△ 261,461
控除項目	—	—
その他	27,056	12,771
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	226,391	235,559
保険リスク相当額 R_1	13,954	13,909
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	10,002	9,877
予定利率リスク相当額 R_2	31,003	31,341
最低保証リスク相当額 R_7	7,601	7,515
資産運用リスク相当額 R_3	181,604	190,411
経営管理リスク相当額 R_4	4,883	5,061
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	957.0%	854.5%

- (注) 1.上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2.最低保証リスク相当額 R_7 の算出に際しては、標準的方式を用いています。

連結ソルベンシー・マージン比率

子会社であるコミュニケーションワン株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を作成し開示しています。

(単位:百万円)

項目	2016年度末	2017年度 第1四半期連結 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1,077,257	1,000,798
資本金等	273,701	236,723
価格変動準備金	97,900	99,450
危険準備金	45,872	46,946
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	693	741
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	191,455	204,939
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	28,082	28,134
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,907	△ 5,437
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	645,965	639,555
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 225,997	△ 261,461
控除項目	△ 1,565	△ 1,565
その他	27,056	12,771
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	222,746	231,820
保険リスク相当額 R_1	13,954	13,909
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	10,002	9,877
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	31,003	31,341
最低保証リスク相当額 R_7	7,601	7,515
資産運用リスク相当額 R_3	178,008	186,725
経営管理リスク相当額 R_4	4,811	4,987
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	967.2%	863.4%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 最低保証リスク相当額 R_7 の算出に際しては、標準的方式を用いています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		70,409		73,602
高齢者生存保障保険		71,485		70,506
変額終身保険特約		4,670		5,888
最低保証付変額生存年金保険		360		365
個人変額年金保険		214,706		208,215
団体年金保険		—		—
特別勘定計		361,631		358,579

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	1	6,603	1	6,465
変額保険(終身型)	42	384,993	42	382,975
高齢者生存保障保険	22	145,750	22	143,436
変額終身保険特約	1	4,941	2	6,170
合 計	66	542,288	65	539,048

(注) 特約の件数は合計には含んでおりません。

・個人変額年金保険

(単位:千件、百万円)

区 分	2016年度末		2017年度 第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	40	259,982	38	244,323
最低保証付変額生存年金保険	0	713	0	713
合 計	40	260,696	38	245,037

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当第1四半期においては、子会社等の特性並びに規模を考慮し、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。